

# 新規就農者激励会



くみあいだより

# J A なんぽろ



JAなんぽろホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

## 新たな仲間へ激励

待している」と、激励の言葉が送られました。

8月25日（木）、JA3階大会議室で令和4年度新規就農者激励会が行われました。

本年の新規就農者は、「山内将人さん（青葉・戸主 青木政光氏）、岩倉伸也さん（鶴城・戸主 岩倉昭彦氏）、武良雄大さん（鶴城・戸主 武良敏則氏）」の3名で、当口は激励会に2名が出席されました。

激励会では、各関係機関より激励状や記念品などが授与された後、大崎町長と林組合長より新規就農者へ向けて「南幌町の未来を担う若手農業者の皆さんに期

ます」とこれからも農業に貢献出来るように頑張りが述べられました。

激励会終了後には、青年部および4Hクラブの代表者による説明会が行われました。

例年は、小麦播種前講習会として小麦関係を中心に講習を行っていましたが、本年は組合員皆様の要望から、水稻直播の内容も加え2部構成になりました。

今回の講習会では講師として、空知農業改良普及センター空知南西部支所植松専門普及指導員・山越専門普及指導員、ホクレン農業協同組合連合会石見沢支所當農支援室大上技師、ホクサン株式会社當農部営業一課田中課次長、JA資材課長船技師の5名に講義を行っていただきました。

講習会第1部では、小麦栽培技術について植松様、大上様、田中様、長船技師の4名により講演が行われ、第2部では、水稻直播栽培技術について山越様に講演していただきました。当口は、1部2部合計で45名が参加し、次年度産に向けて真剣に話を聞き良い講習会となりました。

## 2022秋季講習会を開催

8月30日（火）、JA3階大会議室で2022秋季講習会が開催されました。



## 令和4年産新米収穫開始

9月中旬頃より、町内全域で水稻の収穫作業が一斉に始まりました。

本年は、雨や風の強い日もありましたが、無事に成熟時期を迎えることが出来ました。収穫開始当初は、ゆめぴりかを中心とした圃場よりも刈取りが始められ、町内各所でコンバインがフル稼働していました。無事収穫を終えた組合員からは、安心した様子がうかがえました。取材



時には、町内各所の水稻圃場で、黄金色に仕上がった稻が目に留りました。

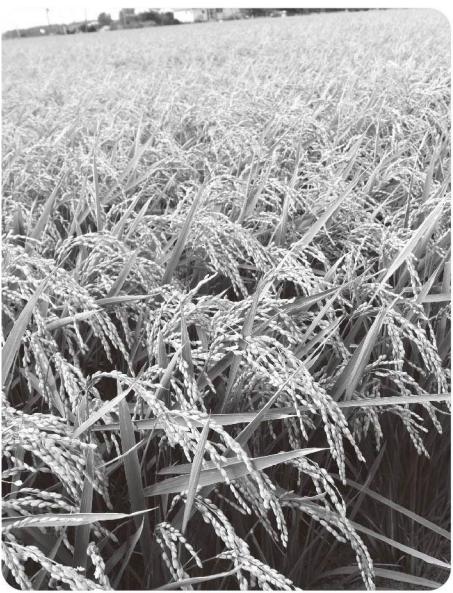
9月14日（水）よりライスター・ミナルでの受け入れ作業が開始され、運搬トラックによる長蛇の列が出来上りました。

10月からは、大豆やてん菜等の収穫が本格化してきます。農繁期を迎えていきますので焦らず、農作業中の事故には十分に注意して作業を行って下さい。

9月1日（木）、町内水稻圃場で不穢調査を行いました。調査には、役場・普及センター・JA各職員が出席し、33圃場よりサンプルを探取し、総粒数と不穢粒数を数え、不穢歩合を調査しました。

町内平均の総粒数は、38,197粒/m<sup>2</sup>と平年値と同等の数値となり、不穢率が11.6%と例年（過去11年平均：8.7%）に比べるとやや多い結果となりました。

なお、品種毎の不穢率は、「きなこ」が10.0%、「ななつぼし」が13.6%、「ゆめぴりか」が8.0%、「あきたぐりん」が20.0%となりました。



## 水稻の穢実調査を実施

## 職場を知るために

8月29日（月）から9月2日（金）までの5日間、令和5年度採用職員に内定している学生の職場体験を実施しました。

今回の職場体験に参加した学生は2名で、JAについての概要学習や各課で実際の業務体験を行いました。

体験当初は、緊張した様子でしたが、徐々にJAの雰囲気に慣れ、時折笑顔も見受けられる様になりました。

体験した学生からは、「入協前に南幌町農業協同組合の職場の雰囲気や仕事内容を詳しく知ることができ、大変勉強になりました」との声がありました。



## 中学生が農業を体験

9月6日（火）、7日（水）、南幌中学校の1年生が町内の農業生産法人で農業体験を行いました。

本年は、(有)ライフ、(株)アシル、(株)響、(有)NOAHの4法人に協力をお願いしました。

作業内容は、収穫、選果、出荷用ダンボールの組み立てなど各法人特色のある内容でした。

現場で行われている作業を目にし、始めは戸惑いながらも、次第に慣れた手つきで作業を行う様子がうかがえました。

将来を担う若者達に南幌町の農業や、食の大切さについて学ぶよい機会となりました。

農業体験に参加した職員からは、「たくさん学べとても良い体験となった」とのお声がありました。

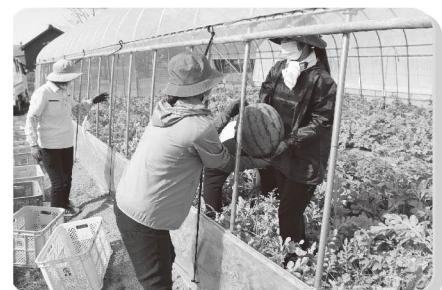
今後も、このような活動を通して南幌町農業の魅力を発信していきたいと思います。



JA YOUTH  
**くるくるの杜職員が農業体験**

JA YOUTH  
**責任感だより**

発行者  
JAなんば青青年部  
編集責任者 石川 卓也



## ドライブスルー洗車機導入

9月1日（木）より、ホクレン南幌セルフ給油所では、新型ドライブスルー洗車機を導入しました。

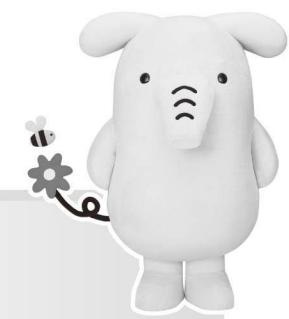
9月1日（木）から9月30日（金）までお試し特別価格のキャンペーンを実施し、たくさんのお客様にご利用いただきました。

まだ利用していない皆様は、この機会に一度ご利用してみてはいかがでしょうか。

ホクレン南幌セルフ給油所では、今後もたくさんのお客様のご利用を、心よりお待ちしております。



## 年金相談会の開催について

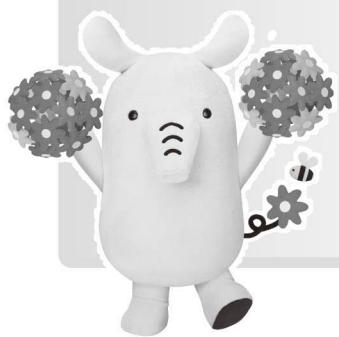


### 開催日時

令和4年10月15日（土）  
午前9時30分～午後3時00分

### 開催場所

J A バンクなんぽろ



※社会保険労務士の先生が当JAに来所します。年金に関する疑問を解決する良い機会ですので、都合の良い時間帯にマスク着用の上お越し下さい。

※ご相談の際には、年金定期便又は年金請求書（日本年金機構から送付された書類）・年金証書・年金手帳・雇用保険被保険者証・認め印・配偶者の方の年金証書・年金手帳等をご持参下さい。

**J A バンクなんぽろ 電話：378-1891**

# 長船技師による営農情報！

## 土壌カリの適正量について



今月はカリについて話したいと思います。交換性カリの土壌診断基準は、作物の要求量を満たしつつ過剰にならない範囲で設定されています。カリ過剰の対策は土壌診断に基づく施肥と有機物施用に伴う減肥がポイントになります。

### 1 カリの必要量と土壌診断基準

- (1)カリは、作物の要求量が多い元素で、各作物の収穫期におけるカリ含有量は20kg/10aを超えるものが珍しくありません。
- (2)「北海道施肥ガイド」におけるカリの施肥量は、収穫物として圃場からのカリ持ち出し量と長期的に釣り合うように設定されています。

表1 土壌のカリ基準(「北海道施肥ガイド2020」)

区分	交換性カリ (mg/100g)
水田畑・普通畑・野菜畑	15～30*

\*野菜畑では、カリ飽和度が10%を越えないことも同時に考慮する

### 2 カリ過剰・欠乏

- (1)土壌中のカリが過剰になると、馬鈴薯のでんぶん価やてんさいの根中糖分の低下を招きます。
- (2)一般的な作物ではカリ過剰吸収に伴い、石灰や苦土の吸収が抑制されることにより、生育や収量低下、生理障害の発生を招きます。
- (3)カリ過剰対策は、土壌診断に基づいてカリ施肥量を加減することと、施用有機物に含まれるカリを減肥することが、柱になります。
- (4)カリの欠乏症は、土壤から流失しやすいので、砂質で腐植含量の少ない土壤で発生しやすい。

#### トマトカリ過剰症

下位葉の葉脈間に黄化症状が発生し、マグネシウム欠乏に類似した症状が現れる。



#### ピーマンカリ欠乏症

下葉の葉脈間が黄化する。



参考資料:土づくりQ&A「総括編」、北海道施肥ガイド2020、要素障害診断事典 目で見るトマトの栄養障害



マイナビ 農業

HOKKAIDO SMART AGRICULTURE SUMMIT  
**北海道スマート農業SUMMIT**  
**2022**

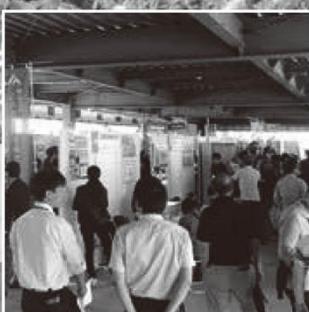
11月15日 TUE 10:00 ~17:00  
 会場：アクセスサッポロ

札幌市白石区流通センター4丁目3-55  
 地下鉄東西線「大谷地駅」下車(16分)、徒歩約14分  
 無料駐車場あり(1100台)  
 新さっぽろ駅よりシャトルバス運行予定

FREE ENTRANCE

**入場無料**

事前参加  
 申込はコチラ  
 当日受付不要で  
 スムーズに入場!!

**ブースでの商談**

関連企業(50社予定)が出演  
 実際の製品・サービスを見ながら  
 メーカー担当者に話を聞くことができます。

**セミナー講演**

多数の企業が講演を実施。  
 講演会後には講演者との名刺交換も  
 可能です。

**農業用機械の実演**

屋外の専用エリアで走行車両や  
 ドローン等の実演を見ることができます。

**ドローンサッカーエキスパート**

会場内に体験エリアを設けます。  
 商談の合間に是非ご体験ください。

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、開催にあたっては感染症予防策を講じたうえで開催いたします。なお今後の状況によっては、イベントの開催を延期・中止または開催内容を変更させていただく場合がございます。ご来場前に必ず「北海道スマート農業SUMMIT」イベントページをご確認ください。

北海道スマート農業  
 SUMMIT運営事務局  
 (株)マイナビ 農業活性事業部

03-6267-4019  
 Mail: agri-sas.info@mynavi.jp

詳しいイベントの  
 情報はこちら

FAXでの事前申込は裏面へ



# 新型コロナウイルス感染症にかかる 入院共済金等の お支払いについて

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さんに謹んでお見舞い申しあげますとともに、一日も早いご回復を心よりお祈り申しあげます。

JA共済連（全国共済農業協同組合連合会、以下「当会」）では、**令和2年4月から実施しております新型コロナウイルス感染症にかかる入院保障の特別取扱い**（以下「**みなし入院**」）の**お支払い対象者について**、**令和4年9月26日(月)**より、以下のとおり見直します。

何卒ご理解を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

**ポイント  
1**

## 「みなし入院」のお支払い対象者について

令和4年9月26日(月)以降、医師により「新型コロナウイルス感染症」と診断された方のうち、重症化リスクの高い以下の方とします。

• 重症化リスクの高い方 •

65歳以上の方

入院をする方

妊娠中の方

重症化リスクがあり、新型コロナウイルス治療薬の投与または  
新型コロナウイルス罹患により新たに酸素投与が必要な方

※令和4年9月25日(日)以前に新型コロナウイルス感染症と診断された方につきましては、重症化リスクにかかわらず、従前どおりのお取扱いといたします。

参考 新型コロナウイルス感染症と診断された場合のお支払い範囲

ケース	診断日*	
	9月25日以前	9月26日以降
入院された場合	<input checked="" type="radio"/> お支払対象	<input checked="" type="radio"/> お支払対象
宿泊・自宅療養された場合 (特別取扱い)	重症化リスクの高い方	<input checked="" type="radio"/> お支払対象
	上記以外の方	<input checked="" type="radio"/> お支払対象

※検査日ではなく、診断日での判断となります。

ポイント  
**2**

## 「みなし入院」の取扱いを開始した経緯について

入院共済金等は、共済約款において「医師による治療が必要」であり、「自宅等での治療が困難」なため、「病院または診療所に入り」、「常に医師の管理下において治療に専念する」場合にお支払対象とする旨、定めています。

令和2年4月当時、新型コロナウイルス感染症に罹患され、病院または診療所への入院が必要な状態にも関わらず、病床の逼迫等の事情により入院することができない状況が発生したことを受け、当会では、組合員・利用者の「安心」と「満足」を提供するというJA共済事業の使命のもと、医師等の管理下で宿泊施設や自宅での療養を余儀なくされた場合も、「入院」と同等に取り扱う特別取扱い(みなし入院)を開始いたしました。

ポイント  
**3**

## 今回の見直しの背景について

今般、政府より新型コロナウイルス感染症に係る発生届の対象範囲について、令和4年9月26日(月)以降は全国一律に「重症化リスクの高い方」に限定されることが公表され、あわせて療養の考え方についても見直されることとなりました。

今回の政府による措置等を踏まえると、重症化リスクの高い方以外(医師による発生届の対象とならない方)については「常に医師の管理下において治療に専念する」状態との判断ができなくなることから、令和4年9月26日(月)以降の「みなし入院」のお支払い対象者について、見直すこといたしました※。

※今後、法令の改正等がなされた場合には、必要に応じて更なる対応を行う可能性があります。

ポイント  
**4**

## 見直し後のご請求手続きについて

見直し後のご請求手続きにつきましては、「重症化リスクの高い方であること」の証明が必要となります。本人確認書類や母子手帳など、組合員・利用者あるいは医療機関等の負担とならないよう検討し、後日あらためて当会ホームページ等にてご案内いたします。

## お問い合わせ

本件に関するお問い合わせについては、下記にて承ります。

なお、個別のご契約内容(共済金の支払いに関する事項等)については、ご契約先のJAへお問い合わせください。

### JA共済相談受付センター

電話番号

**0120-536-093**

受付時間

午前9時から午後6時(月曜日～金曜日※)

午前9時から午後5時(土曜日※)

※祝日を除きます。

※当会ホームページ(<https://www.ja-kyosai.or.jp/>)においても、新型コロナウイルス感染症に関連した当会の取組みについて、随時最新の情報を掲載しておりますので、あわせてご確認ください。

22485000043

# 理事会報告

9月7日

の月定例理事会で審議された主な内容について、  
次のとおり報告申し上げます。

【議案】

- 1、令和4年産小麦の共同計算精算方針の設定について
- 2、農産物の生育状況について
- 3、令和4年度畑作物の直接支払交付金における営農継続支払の交付について
- 4、令和4年産特定低品位米の系統共計契約について
- 5、令和4年産特米の保管状況について
- 6、8月末農産物保管状況について
- 7、8月末蔬菜販売状況について
- 8、令和4年度南幌町穀類乾燥調製貯蔵施設小麦操業状況について
- 9、8月期JAローンの貸付について
- 10、令和4年度JA共済コンプライアンス点検結果について
- 11、内部監査の実施報告について
- 12、令和4年度8月末組合員の異動状況について
- 13、令和4年度第2四半期の固定資産取得および処分について
- 14、固定資産の賃貸について
- 15、要領の制定および改正について
- 16、コンプライアンス研修会の開催について
- 17、役員道外視察研修について
- 18、人事について
- 19、8月末財務状況について

## ～表紙の紹介～

◎今月号は、新規就農者激励会に出席された2名に表紙を飾っていただきました。



## 南幌町 フォトコーナー



くみあいだより担当の吉田は、  
8月末で退職された田中係と写真を撮りました。



## 編集後記

### 員人事異動

人事異動は左記の通りです。  
退職 (8月31日付)  
▽石政修孝 (農産部 施設課)  
△田中星哉 (営農部 資材課)

### 私達のJA

令和4年8月末日現在

組合員 2,699名  
(前年同期比 ▲22名)

正組合員 446名  
(前年同期比 ▲4名)

准組合員 2,253名  
(前年同期比 ▲18名)

正組合員戸数 280戸  
(前年同期比 ▲1戸)